

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年8月20日発行

2026.8.10 ~ 2026.8.16 -第33週-

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病		保 健 所					仙台市	宮 城 県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症 *1	155 31.00	200 20.00	197 39.40	153 30.60	133 33.25	822 31.62	1,660 30.18	121,656
	インフルエンザ *2	4 0.80	14 1.40		1 0.20	4 1.00	44 1.69	67 1.22	17,347
	新型コロナウイルス感染症 *2		8 0.80	1 0.20	1 0.20	3 0.75	6 0.23	19 0.35	3,219
小児科定点	RSウイルス感染症 *2			1 0.33			4 0.27	5 0.16	373
	咽頭結膜熱 *2						2 0.13	2 0.06	251
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *2	1 0.50	2 0.33	1 0.33	1 0.33		7 0.47	12 0.39	2,105
	感染性胃腸炎	1 0.50	8 1.33		3 1.00	22 11.00	16 1.07	50 1.61	4,328
	水痘						8 0.53	8 0.26	384
	手足口病	33 16.50	24 4.00	15 5.00	15 5.00	17 8.50	103 6.87	207 6.68	1,607
	伝染性紅斑	1 0.50						1 0.03	85
	突発性発しん			1 0.33	1 0.33		2 0.13	4 0.13	260
	ヘルパンギーナ *2		4 0.67	10 3.33	7 2.33	1 0.50	27 1.80	49 1.58	405
	流行性耳下腺炎							0	23
眼科定点	急性出血性結膜炎							0	2
	流行性角結膜炎			2 2.00				2 0.17	192
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	6
	マイコプラズマ肺炎				1 1.00		4 0.80	5 0.50	76
	無菌性髄膜炎							0	3
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	13	1		1		2		
	川崎病			1					
	不明発疹症				1				

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 6例(前週比較: +2例)
 新型コロナウイルス感染症: 3例(前週比較: +2例)
 * 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

手足口病患者より

大崎管内	第31週採取分	コクサッキーウイルスA6型	5件
気仙沼管内	第31週採取分	コクサッキーウイルスA6型	1件

ヘルパンギーナ患者より

大崎管内	第31週採取分	コクサッキーウイルスA6型	2件
	第32週採取分	コクサッキーウイルスA6型	3件

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。

<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

第33週の患者報告数は、お盆期間の医療機関の休診等の影響により、多くの疾病で患者報告数が減少しました。

【手足口病】

前週に引き続き、県内全ての管内で、令和6年度まで運用していた警報継続基準値を上回っています。当センターに搬入された手足口病患者検体からは、コクサッキーウイルスA6型(CA6)が検出されています。感染予防には、咳エチケットや日常的な手洗い、おむつ処理後は石鹸で十分に手洗いを、タオルの共用は避けるなどの対策が重要です。感染対策の徹底に努めましょう。

【ヘルパンギーナ】

県内で患者の増加が見られたことから、県は令和8年8月13日に注意喚起を行いました。ヘルパンギーナ患者検体からは、手足口病患者検体と同様にCA6が検出されています。ヘルパンギーナは、発熱とともにのどに痛みと水疱が現れる夏風邪の一種で、乳幼児を中心に夏に流行します。原因は手足口病と同じ種類のウイルスですので、同様な感染対策が効果的です。

【インフルエンザ】

今週の定点当たりの患者報告数は1.22人で、流行の目安とされる1人を超えています。仙台医療センターウイルスセンターではA(H1N1)pdm09が検出されています。咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始／継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

